

スピリチュアル物語

230話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

- Skypeセッション 1時間\$80 / 90分\$115
- メール相談 簡易コース\$15 / 通常コース\$40



「勇気があるという状態は：中庸・中道、メソテース・Golden Mean」と言えるけれど、な過ぎると臆病：あり過ぎれば無謀：になる。他者との関係性に於いても利他と利己の丁度中間に居ることがバランスが取れている状態：「マジョリアルがマグワートの言葉をまとめると、ウイザットが「でもさあ：どうやって自分が中庸・中道、メソテース・Golden Meanという状態にあるかどうかを知ることが出来るんだい？なんか概念としては解る様な気もするけれど：実際は漠然としていて難しいよ

：」と発言。それを受けてマグワートは顎髭を捻りながら頷いたが、暫くしてこう言った。「人は時に臆病にもなり、時に無謀にもなる。過剰に利他的な言動をする時もあれば、自己中心的な振る舞いをすることもある。それは：中庸・中道、メソテース・Golden Meanを知るには：両極をまず知ることが必要だからかも知れん。その為に、様々な場面を経験し、その時の自分の言動を振り返ること、客観視すること、何処が中庸・中道、メソテース・Golden Meanであるのかを知ることが出来る

んじゃないだろうか。つまり、人生に於ける全ての経験は：ある意味、中庸・中道、メソテース・Golden Meanを知る為に宇宙が用意してくれている物差しなのかも知れない：。よってどんな経験もその人にとって幸福になる為の必然なんだと思う。光と闇という対極がある様に思うけれど、光が中庸・中道、メソテース・Golden Meanに位置し、そこから遠くなる両極が闇となるのではないかな」



★これまでのお話(1~229話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 1月31日号につづく